大腸癌肝転移前向きレジストリ研究

について

本調査研究の概要を以下に示します。【対象】に該当すると思われる方で、本調査研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、担当医にお申し出ください。

【本調査研究の目的】
大腸癌は、大腸（結腸、直腸）に発生する上皮性悪性腫瘍です。大腸癌における遠隔転移臓器のうち、肝臓は最も高頻度に見られる遠隔転移臓器で、大腸癌患者の予後改善のためには、大腸癌肝転移の治療成績向上は緊迫の課題のひとつになっています。
大腸癌肝転移の中で、どの程度の症例に対してどういった治療が導入されたかを把握し、それらの予後因子の解析をおこなうことで、今後臨床試験を行う際の参考や、治療方針の決定などにつながることが期待できます。
本研究では大腸癌肝転移症例を前向きに集積し、肝転移に対する治療の有無及びその種類による無再発生存期間および全生存期間の解析を行い、今後の治療に役立てることを目的としています。

【対象】
承認日から 2024 年 9 月 30 日までに、当院で初発大腸癌肝転移と診断された患者さんを対象としております。

【調査項目】
①大腸癌肝転移と診断した時点でまず下記を登録します。
（全症例共通）
治療前報告書
原発巣総合情報
肝転移診断時治療情報

②その後の治療法の選択により、必要な収集情報はあらかじめ研究事務局が作成した
下記の 7 つのセットに集約されているので、担当の先生がその患者さんのために選ばれた
治療法のＦセットを選び、記載し研究事務局へ送付します。

A（大腸切除+肝臓切除）
原発巣手術情報（全症例）、肝転移手術情報（1 回目肝転移切除例のみ記載）、肝転病理情報（肝転移切除例のみ記載）、肝転移切除後治療情報（肝転移切除例のみ記載）、その他治療および予後情報（全症例）

B（大腸切除+肝切除+化学療法）
原発巣手術情報（全症例）、肝転移診断後化学療法情報（1 次治療）（化学療法施行例のみ記載）、肝転移化学療法後情報（1 次治療）（化学療法施行例のみ記載）、肝転移診断後化学療法情報（2 次治療）（2 次治療施行例のみ記載）、8. 肝転移化学療法後情報（2 次治療）（2 次治療施行例のみ記載）、肝転

移手術情報（1 回目）（肝転移切除例のみ記載）、肝転移病理情報（肝転移切除例のみ記載）、肝転移切除後治療情報（肝転移切除例のみ記載）、その他治療および予後情報（全症例）

C（大腸切除+肝転移化学療法）
原発巣手術情報（全症例）、肝転移診断後化学療法情報（1 次治療）（化学療法施行例のみ記載）肝転移化学療法後情報（1 次治療）（化学療法施行例のみ記載）、肝転移診断後化学療法情報（2 次治療）（2 次治療施行例のみ記載）、肝転移化学療法後情報（2 次治療）（2 次治療施行例のみ記載）その他治療および予後情報（全症例）

D(大腸切除+肝臓無治療)
原発巣手術情報（全症例）、その他治療および予後情報（全症例）

E（大腸・肝臓化学療法）
肝転移診断後化学療法情報（1 次治療）（化学療法施行例のみ記載）、肝転移化学療法後情報（1 次治療）（化学療法施行例のみ記載）、肝転移診断後化学療法情報（2 次治療）（2 次治療施行例のみ記載）、肝転移化学療法後情報（2 次治療）（2 次治療施行例のみ記載）、その他治療および予後情報（全症例）

F（大腸・肝臓無治療）
その他治療および予後情報（全症例）

なお、必要な情報のみを統計資料として集計しますので、患者さんのお名前など個人を特定できる情報が明らかになることはありませんので、ご安心ください。

【研究期間】
承認日から 2027 年　9　月　30　日（調査状況により調査期間を延長する可能性があります）

【研究機関・組織】
【研究代表者】
鄭　充善
大阪労災病院　外科
〒591-8025 大阪府堺市北区長曾根町 1179-3
TEL：072-252-3561
FAX: 072-255-3349
E-mail: mtei@live.jp

【研究事務局】
大阪大学消化器外科共同研究会
担当　大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学　助教　野田　剛広、高橋　秀和、西田　尚弘
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2-E2
TEL：06-6879-3251
FAX：06-6879-3259

【当院の研究責任者】
村田幸平
関西労災病院　消化器外科
〒660-8511　兵庫県尼崎市稲葉荘 3-1-69
TEL: 06-6416-1221（代表）
FAX: 06-6419-1870（代表）
E-mail： kmuratajp@yahoo.co.jp